

令和元年 11 月定例記者会見

【11月6日(水)午前9時30分／4階特別会議室】

会見項目

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 1 台風第19号による被害状況と支援策について | (危機管理課他) |
| 2 市道北部環状2号線(近内―山口間)の開通について | (建設課) |
| 3 令和元年度宮古市市勢功労者表彰式について | (総務課) |
| 4 第33回宮古サーモン・ハーフマラソン大会について | (生涯学習課) |
| 5 宮古市陸上競技育成強化支援事業について | (生涯学習課) |
| 6 高校生しごとメッセ in 宮古について | (産業支援センター) |
| 7 第40回田老「鮭・あわびまつり」について | (田老総合事務所) |
| 8 高田式体育教室ダイヤモンドキッズカレッジについて | (生涯学習課) |
| 9 令和元年度多良間村交流事業「児童生徒体験交流学习」について | (学校教育課) |

会見内容

別紙資料1～9のとおり。

記者との質疑

■台風第19号による被害状況と支援策について

NHK記者

住宅再建支援制度は何を目的に行う事業ですか。

市長

安全なところに、住居を再建してほしいという思いがあり、再建しやすい支援を目的に独自の支援策を行います。

NHK記者

独自支援によって、市の負担も発生すると思いますが、その負担を今後国などをお願いしていく予定はありますか。

市長

市の支援策は、市で負担します。その他の災害支援法に対する嵩上げ等については、国に対して要望していきます。

朝日新聞記者

独自支援策は、具体的に資料の【新規】と【拡充】の部分でよろしいですか。

市長

支援策 1「被災者の支援（応急・緊急支援）」③の災害救助法に基づく被災住宅応急処理の《半壊以上》の基準額のうち市単独嵩上げ分の20万5千円。⑦その他の支援。
2「被災者支援（すまいの再建支援）」①から⑤。3「被災事業者の支援」①②が独自支援になります。

朝日新聞記者

市の独自の支援について、県の財源も入る可能性がありますか。

市長

国と県がどのように考えるかによって違ってきます。我々は、今回の台風第19号で被災された方々にも、東日本大震災・平成28年の台風第10号と同じ内容で支援しようと考えているところです。

朝日新聞記者

資料の被害及び推計額では、漁港施設と水産施設の被害が甚大なようですが、今後どのように支援しますか。

市長

災害復旧費ということで国の補助を考えており現在、国の査定に向けて取り組んでいるところです。その中でも種類によっては補助対象外もあるので、その場合は市の単独で進めていくことになります。

朝日新聞記者

重茂の漁港に下りていく道路が閉ざされて困っている声があります。今後の復旧の見通しはどうか。

市長

現在、工事業者が作業を行っており、早い段階で土砂やがれきを撤去する予定です。アワビ漁の時期に間に合うように作業を進めたいと思います。

岩手日報記者

被害及び推計額はいつ時点のものか。今後増える可能性はありますか。

市長

11月5日時点の資料になります。今後増える可能性はあります。

TVI記者

被害総額の104億2千6百万円は、他の災害の時の被害額と比べてどうですか。

市長

東日本大震災は規模が違います。平成28年の台風第10号では総額227億円の被害がありました。

現在104億円ですが、今後被害がどこまで膨らむかになります。3年前と今回では被害の場所と施設が違います。漁港や水産施設は今回が前回の倍の被害額。一方、商工労働関係施設の被害額は3年前が127億円。今回は7億円。場所と分野によって増減があり

ますので、総額で判断はできない状況です。

岩手日報記者

普代村ですと災害ごみが処理できなくて、広域処理になっていますが、宮古市の災害ごみの状況はどのようになっていますか。

市長

小山田の仮置き場を確保し最終処理場に持っていっています。今のところ、最終処理を広域行政組合で行っています。今は間に合っていますが、厳しくなってくると思われます。今後市内で土砂等処理できる施設を見つけていかなければならないと考えています。

岩手日報記者

県の本部会議で仮設住宅の入居見込が出されましたが、宮古市では市営住宅に案内していると思いますが、市営住宅で間に合っていますか。

市長

現在市営住宅の空き室を使って間に合っている状況です。

朝日新聞記者

重茂地区では断水が長引きましたが、その原因を教えてください。

市長

取水口から浄水場までの管の破損が大きな原因です。また、そこに行くまでの道路の破損があり長引きました。今後、災害に対して強い対策が必要であると考えており、現地の状況を見ながら状況に応じ改良を行っていきます。

岩手日報記者

取水口から浄水場の破損は、何ヶ所もあったのですか。

市長

4水系ありました。田老北部。重茂は北部と南部。白浜簡易水道が壊滅的な状況でした。

■その他について

朝日新聞記者

田老「鮭・あわびまつり」の開催を1日にした理由に、鮭の不漁とありましたが、台風の影響はありませんか。

市長

鮭の不漁です。現在田老地区の鮭の漁獲量は例年の2割程度とのこと。

岩手日報記者

市勢功労者表彰式について、表彰者4名の写真を提供していただけますか。通常、事前に表彰者を掲載して紹介したうえで表彰式の案内をしています。

市長

事前に撮影して連絡します。

岩手日報記者

サーモン・ハーフマラソンの参加者が前年から減っているようですが、台風の影響がありますか。

市長

盛岡シティマラソンへの参加者があったことも原因の1つだと思われます。

台風第 19 号による被害状況と支援策について

台風第 19 号の接近に伴う対応等

(令和元年 1 月 5 日(火)現在)

1 最接近時の台風の規模 (令和元年 10 月 13 日 5 時 45 分)

大きさ	大型	最大風速	30 m/s
存在位置	宮古市の東南東約 100km	最大瞬間風速	45 m/s
中心気圧	975 hPa	速さ	65 km/h

2 気象の状況

観測所	宮古	刈屋	川井	区界
一時間最大雨量 (mm) (13 日)	84.5mm (01:21) 観測史上最大	20.0mm (01:20)	28.0mm (01:12)	10.0mm (01:26)
24 時間最大雨量 (mm)	393.5mm 観測史上最大	—	—	—
累加雨量 (mm)	417mm	160mm	174mm	97mm

3 気象警報等の状況

【台風第 19 号警戒】

- ・令和元年 10 月 12 日 (土) 暴風警報、波浪警報、大雨警報、洪水警報、高潮警報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、大雨特別警報

【10 月 25 日土砂災害警戒】

- ・令和元年 10 月 25 日 (金) 波浪警報、大雨警報

4 避難勧告等発令等の発令状況

【台風第 19 号警戒】

- 令和元年 10 月 12 日 (土) 12 時 00 分 災害警戒本部設置
- 15 時 00 分 災害対策本部設置
- 警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始
- 17 時 00 分 警戒レベル 4 避難勧告
- 令和元年 10 月 13 日 (日) 01 時 00 分 警戒レベル 5 災害発生情報
- 令和元年 10 月 14 日 (月) 00 時 19 分 避難勧告解除

【10 月 18 日土砂災害警戒】

- 令和元年 10 月 18 日 (金) 15 時 00 分 警戒レベル 4 避難勧告
- 令和元年 10 月 19 日 (土) 17 時 00 分 避難勧告解除

【10 月 25 日土砂災害警戒】

- 令和元年 10 月 25 日 (金) 15 時 00 分 警戒レベル 4 避難勧告 (宮古、田老)
- 令和元年 10 月 26 日 (土) 10 時 28 分 避難勧告解除

5 避難の状況

【台風第 19 号警戒】

	宮古地区	田老地区	新里地区	川井地区	計
避難所	27 箇所	4 箇所	11 箇所	9 箇所	51 箇所
避難者数 (最大時)	1,058 人	148 人	236 人	109 人	1,551 人

【10月18日土砂災害警戒】

	宮古地区	田老地区	新里地区	川井地区	計
避難所	27 箇所	4 箇所	11 箇所	9 箇所	51 箇所
避難者数（最大時）	244 人	54 人	10 人	12 人	320 人

【10月25日土砂災害警戒】

	宮古地区	田老地区	新里地区	川井地区	計
避難所	27 箇所	4 箇所			31 箇所
避難者数（最大時）	94 人	39 人			133 人

6 被害等の状況

(1) 人的被害

死亡 1 名

(2) 孤立状況

- ・ 崎山地区（第5地割の一部） 14 日 18:40 解消
- ・ 田老畑地区（加倉） 17 日 17:00 解消
- ・ 重茂地区（追切、仲組、鶉磯、荒巻、千鶏の一部、石浜の一部） 31 日 15:00 解消

(3) 物的被害（※調査進捗率 98% 被害判定進捗率 96%）

全 壊： 65 棟（18 世帯）（住家 18 棟、非住家 47 棟）
 大規模半壊： 62 棟（20 世帯）（住家 20 棟、非住家 42 棟）
 半 壊： 1, 122 棟（住家 323 棟、非住家 799 棟）
 一 部 損 壊： 693 棟（住家 509 棟、非住家 184 棟）
 合 計： 1, 942 棟（住家 870 棟、非住家 1, 072 棟）

(4) 道路、河川、橋梁（市管理分）

- ・ 道路被害 66 路線 129 箇所
- ・ 河川被害 12 河川 25 箇所
- ・ 橋梁被害 4 箇所

(5) ライフライン

停電（田老、崎山、田代、津軽石、重茂）約 3000 戸 22 日 08:00 解消
 断水（田老、重茂） 949 戸 29 日 17:00 解消

※別紙「被害及び推計額」参照

7 他市等からの支援職員

(1) 災害協定及び友好都市等

市	人数	延人日	業務	車両等
室蘭市	10	62	給水、被害調査、家屋調査、保健師業務	2
苫小牧市	12	64	給水、災害対策本部	3
黒石市	9	64	給水、家屋調査	1
大仙市	19	103	給水、家屋調査、保健師業務、災害対策本部	1
笠間市	1	14	災害対策本部	
八幡平市	4	20	被災者支援	
岩手県	3	5	家屋調査	
岩手県後期高齢者医療広域連合	1	9	家屋調査	
計	59	341		7

(2) 公益財団法人日本水道協会岩手県支部

市	人数	延人日	業務	車両等
盛岡市	1 2	3 4	給水（固定タンク 2 基）	2
一関市	6	1 6	給水	1
八幡平市	4	1 2	給水	1
奥州市	8	1 8	給水（固定タンク 1 基）	1
滝沢市	7	1 5	給水	1
矢巾町	5	1 3	給水	1
岩手中部水道企業団	4	1 2	給水	1
計	4 6	1 2 0		8

8 自衛隊の災害派遣活動

物資輸送、給水支援、道路啓開、災害廃棄物除去、入浴支援（10月14日～30日）

被害及び推計額

(単位：千円)

施設区分	被害	被害推計額
公共土木施設	道路 129 箇所、橋梁 4 箇所、河川 25 箇所、下水道施設 4 箇所、漁業集落排水施設 2 箇所、都市公園 20 箇所	5,284,895
公営住宅等	八木沢団地、黒田町災害住宅、津軽石災害住宅	1,294
通信施設	テレビ共同受信施設（白浜地区）	3,300
学校施設	小学校（宮古小学校ほか）9 校、中学校（第一中学校ほか）5 校	201,500
社会教育施設	中央公民館	530,000
体育施設	田老野球場、宮古運動公園、姉ヶ崎サン・スポーツランド	141,000
社会福祉施設	重茂児童館	9,300
医療・衛生施設	民間病院等 4 件	13,000
農地農業用施設	田畑 38 箇所、農道 21 路線等	179,000
農業施設	豆類、野菜、りんご、水稻、サイレージ、生乳	7,500
畜産等施設	共同利用施設（穀類乾燥機ほか 11 件）、非共同利用施設（コンバインほか 7 件）	10,125
林業施設	林道 43 路線 120 箇所、治山施設 14 箇所、林産施設 3 箇所、人工ほだ場（6,000 本）	663,028
漁港施設	外郭施設 2 箇所、係留施設 7 箇所、水域施設 20 箇所、輸送施設 14 箇所、漁港施設用地 5 箇所、堤防 3 箇所、漁協集落施設等 7 箇所、漁場施設 1 箇所	1,044,000
水産施設	ふ化場等 31 件（津軽石ふ化場、重茂ふ化場ほか）、漁船 41 隻、漁具（川留 4 箇所、定置網 7 ヶ統）、養殖施設 21 台（カキ、ワカメ、コンブ施設）、水産物（かき 37t、ほたて 70t 等）	957,519
商工労働関係施設	商業、工業事業所(276 事業所)	763,750
観光施設	自然公園（浄土ヶ浜(公園内道路、遊歩道)、臼木山、姉吉～鮎ヶ崎自然歩道、月山(市道御殿山線)、浪打崎、小港園地)、観光施設（震災メモリアルパーク中の浜、グリーンピア三陸みやこ、たろう潮里ステーション、鮎ヶ崎灯台トイレ、浄土ヶ浜ビジターセンター、小港海水浴場施設）	300,250
水道施設	宮古上水道 14 箇所、簡易水道（白浜、重茂北、重茂南、田老、新里、田代）、飲料供給施設（箱石、撰待和野、胡桃畑）	229,100
文化財	国登録有形文化財（旧東屋酒造店舗兼主屋）、史跡（国史跡崎山貝塚）	8,500
文化施設	崎山貝塚縄文の森ミュージアム	100
消防防災施設	防災行政無線施設 2 箇所、避難路 4 箇所	44,300
庁舎等	公用車駐車場、館山用地、元西ヶ丘集会所用地	35,500
計		10,426,961

令和元年台風第 19 号 被災者・被災事業者に対する支援策

宮古市では、去る 10 月 12 日から 13 日にかけての台風第 19 号に伴う記録的な豪雨等により、被災された方々の一日も早い生活の安定のため、東日本大震災及び平成 28 年台風 10 号と同様の支援策を実施します。

1 被災者の支援（応急・緊急支援）

①被災者生活再建支援法に基づく支援

【平成 28 年台風 10 号と同様】

※法適用見込み（10 世帯以上の住宅全壊被害が発生した市町村に該当）

《大規模半壊以上》

- ・住宅に被害を受けた世帯へ支給

基礎支援金 最大 100 万円（住宅の被害程度などに応じて支給）

- ・住宅の再建方法に応じて支給

加算支援金 最大 200 万円（基礎支援金受給世帯が対象）

②被災者生活再建支援金

【平成 28 年台風 10 号と同様】

《半壊》

- ・住宅に被害を受けた世帯へ支給

最大 20 万円

③災害救助法に基づく被災住宅応急修理

《半壊以上》

【平成 28 年台風 10 号と同様】

- ・被災した住宅に引き続き住むための応急修理

最大 80 万円

（基準額 59 万 5 千円＋市単独嵩上げ 20 万 5 千円）

《一部損壊》

【新規】

- ・被災した住宅に引き続き住むための応急修理

最大 30 万円

④被災宅地内の災害廃棄物撤去

【平成 28 年台風 10 号と同様】

- ・宅地内にあるガレキ・土砂などの災害廃棄物撤去を支援

⑤災害援護資金貸付金

【平成 28 年台風 10 号と同様】

《住居、家財に被害を受けた方》

- ・無利子又は低利子で生活資金や生活再建資金を貸し付け 最大 350 万円

⑥災害弔慰金

【平成 28 年台風 10 号と同様】

《災害により死亡された方の遺族》

- ・自然災害による死亡者の遺族に対する弔慰金の支給

最大 500 万円

⑦その他の支援

《被災したテレビ共同受信施設》

【平成 28 年台風 10 号と同様】

※台風 10 号時対象無し

- ・被災したテレビ共同受信施設の復旧費用の補助（白浜地区）

最大 240 万円

《被災した地区の公共交通支援》

【平成 28 年台風 10 号と同様】

- ・被災した地区と最寄りのバス停とを接続するためのタクシー運行支援

（白浜地区、重茂北地区、姉吉・千鶏・石浜地区）

700 万円

《被災した私道等の復旧支援》

【拡充】

- ・被災した私道等の復旧費用を補助

最大 200 万円

2 被災者の支援（すまいの再建支援）

- ①すまいの再建促進事業補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
《全壊・解体》
・再建する住宅の建設・購入経費に対する補助 最大 200 万円
- ②浸水宅地等復旧支援事業補助金 【拡充】
《被災した宅地》
・台風の影響で被災した宅地の復旧経費に対する補助 最大 50 万円
- ③地域木材利用住宅推進事業補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
《大規模半壊以上》
・地域木材を利用した住宅の建設経費に対する補助 最大 100 万円
- ④被災者定住促進住宅建築利子補給事業補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
《半壊以上かつ滅失・解体》
・再建する住宅を建築・購入する際の住宅ローン利子の一部を補助
最大 465 万円
- ⑤被災者転居費用支援事業補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
《半壊以上》
・恒久的な住宅（民間賃貸住宅・公営住宅含む）への転居費用を補助
最大 5 万円

3 被災事業者の支援

- ①被災中小企業対策資金利子等補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
・被災中小企業者が借り入れた資金の利子及び保証料を補助
- ②被災中小企業者対策設備貸与事業補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
・いわて産業振興センターの設備貸与制度の保証料 10%を補助
- ③被災企業等復旧支援対策補助金 【平成 28 年台風 10 号と同様】
・被災した事業用の施設設備等の復旧費用を補助 最大 2,000 万円

※ 今後、国や県の支援制度が決まり次第、随時、支援制度を実施する予定です。

市道北部環状２号線（近内―山口間）の開通について

趣旨・目的	市街地の渋滞緩和、宮古病院へのアクセス道路及び津波襲来時の迂回路として整備していた、市道北部環状２号線（近内―山口間 1,280m）が開通します。
日時	11月30日（土） ・午前11時～ 開通式典 ・午後 2時～ 一般車両解放
場所	宮古市近内地内、山口地内 ※開通区間は別紙地図のとおり
主催	宮古市
内容	◎午前11時から、開通式典を挙ります。 ◎開通式典終了後には、式典出席者の車両による「開通パレード」を行う予定です。
特記事項	◎北部環状線道路整備事業は、平成4年度に事業を開始しました。 ◎平成28年に開通した市道北部環状線（山口―佐原間）と合わせ、延長3,611mとなります。 ◎28年の歳月を経て、晴れて開通の運びとなっております。
問い合わせ	都市整備部建設課管理係（☎68-9102）

令和元年度宮古市市勢功労者表彰式について

趣旨・目的	公共の福祉と市勢の進展に尽くし、その功績が顕著であって、他の模範と認められる方々を市勢功労者として表彰する。
日時	令和元年 11 月 25 日（月）午後 2 時から午後 3 時頃まで ※終了時刻は予定
場所	市民交流センター 2 階 多目的ホール
主催	宮古市
内容	■表彰式 被表彰者一人一人に、表彰状と記念品を授与する。 ■記念写真撮影 表彰式終了後に被表彰者全員で記念写真撮影を行う。
特記事項	①市勢功労者 4 人の内訳 自治功労 1 人、民生功労 1 人、統計功労 1 人、治安功労 1 人 ②被表彰者の氏名、功績等は、配布資料のとおり。 ③市民に明るい希望と活力を与えることに顕著な業績があった人を表彰する「市民栄誉賞、市民奨励賞」は、該当者なし。
問い合わせ	市総務課行政係（☎ 6 8 - 9 0 6 1）

第33回宮古サーモン・ハーフマラソン大会について

趣旨・目的	市民の皆さんにマラソンに親しんでもらい、健康増進を図るとともに、遠来のランナーには、鮭を中心とした宮古の魅力をアピールし、宮古市の復興に資することを目的とする。
日時	令和元年11月10日（日）午前8時～
場所	宮古消防署前広場 ほか
主催	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会（宮古市・宮古市教育委員会・㈱エフエム岩手・（一財）宮古市体育協会 他）
内容	ハーフの部のコースについて、台風19号により被災した箇所があることから、コースを一部変更し、約19.5kmで実施する。（別紙図面参照） ※ハーフの部のコース変更及び公認コースとならないことについては、申込者へ事前に連絡する。それ以外の種目には、変更なし。 ■申込者合計 2,881人（昨年比▲239人） （内訳） ハーフの部 756人（昨年比▲92人） 10kmの部 987人（昨年比▲68人） 5kmの部 415人（昨年比+18人） ペアの部 723人（昨年比▲97人） ※ペアの部について、特別参加（はまゆり学園5名）あり
特記事項	◎東京2020オリンピック・パラリンピックで、宮古市がホストタウンとなる「ナミビア共和国」のモーヴェンM.ルスウェニョ全権大使にもお越しいただく。 ◎ゲストランナーについて、青山学院大学から、中山大樹選手、能島翼選手なかやまひろきの2名が10kmの部に参加。
問い合わせ	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会事務局（宮古市民総合体育館内、☎0193-62-6000） 教育委員会事務局 生涯学習課 体育振興係（☎0193-68-9120）

宮古市陸上競技選手育成強化支援事業について

趣旨・目的	陸上競技を行う宮古地区の中学生及び高校生の競技力向上のため、全国レベルの指導者を招聘し、陸上競技選手の育成強化を行う。
日時	① 11月16日（土）午前9時30分～午後3時30分 ② 11月17日（日）午前10時～正午
場所	① 宮古運動公園陸上競技場 ② 市民交流センター 多目的ホール
主催	宮古市陸上競技協会
内容	宮古市出身で、オリンピック選手を育成するなど、陸上競技指導者として全国的に有名な大村邦英さん^{おおむらくにひで}と、昨年4×100mリレーで学生記録を樹立した日本体育大学女子陸上競技部の選手を招き、クリニック及び講演会を行う。 ① クリニック：大村総監督によるトレーニング指導及びデモンストレーションとして、日本体育大学女子陸上競技部との4×100mリレー対決を行う。宮古地区の中学校・高校の陸上競技部が対象。 ② 講演会：大村総監督による講演。競技力向上のための心構えや、効果的なトレーニング方法についての内容。どなたでも参加可能。
特記事項	◎クリニックについては、宮古地区の陸上競技部へ、宮古市陸上競技協会から直接周知する。 ◎講演会の申し込みは、宮古市陸上競技協会事務局へ電話またはメールにて申し込み。 ◎講演会の定員 180名 ◎講演会の申込期限 11月10日（日） ※講演会については、11月1日号の広報に掲載済
問い合わせ	宮古市陸上競技協会事務局（☎080-1827-3743） miyako.rikujou@gmail.com 市教育委員会 生涯学習課 体育振興係（☎68-9120）

高校生しごとメッセ in 宮古について

趣旨・目的	宮古公共職業安定所管内の高等学校に在籍する生徒及び保護者を対象に、管内事業所の事業内容（製造品や施設のサービス内容等）について、事業所単位で設置するブースにおいて説明を行い、地元産業への理解を深め、管内就職の促進を図ります。
日時	11月21日(木) 午後0時30分～3時50分
場所	宮古市民総合体育館（シーアリーナ）
主催	宮古地域雇用対策協議会
内容	■管内各産業の事業所ブース訪問 関心を持った事業所ブースを訪問して、事業内容などの説明を聞く。 12:45～13:40 1回目 14:55～15:50 2回目 ■先輩社会人を迎えてのトークセッション 地元で働く先輩社会人に疑問・質問に答えてもらうトークセッション。 13:50～14:40 ■参加対象者 管内高等学校に在籍する高校1年生及び保護者、管内高等学校教諭 ■参加事業所 27社（予定）
特記事項	◎昨年度の開催実績 参加学校数 9校 参加者数 651名(生徒605名、教諭42名、保護者4名) 参加事業所数 27社
問い合わせ	宮古地域雇用対策協議会（宮古公共職業安定所内、☎63-8609）

第40回 田老「鮭・あわびまつり」について

趣旨・目的	復興に向けた観光イベントとし、全国各地より支援をいただいた方々に感謝の気持ちを込め、魅力ある宮古市の特産品を広くPR・直売することにより、イメージアップと地域、産業の復興・活性化を図ります。 また、三陸ジオパークを広く周知するため、ジオサイトである「津波遺構たろう観光ホテル」の一般公開を同時開催します。 <u>※今年は鮭の不漁（種卵確保）により開催を24（日）のみとします。</u>
日時	11月24日（日）午前9時～午後3時15分 ◆「津波遺構一般公開」は、午前10時～正午
場所	道の駅たろう隣イベント広場（田老町漁業協同組合ビル西側） ◆「津波遺構一般公開」は、津波遺構たろう観光ホテル
主催	田老観光イベント実行委員会
内容	■海鮭のつかみどり体験 11:30～、14:00～ 100人（50人×2回）※抽選で参加者を決定 参加料1人1,500円。2分間で1本限り（補償本数1本） ■あわびとり体験 11:00～、13:30～ 50人（25人×2回）※抽選で参加者を決定 参加料1人1,000円。2分間で2枚まで（補償枚数1枚） ■鮭汁のお振る舞い 11:50～ 500食予定 ■その他のイベント等 田老一中太鼓、姉妹都市八幡平市の特産品コーナー、餅まき、バンド演奏、ダイノジお笑いLive、新川めぐみ歌謡ショー、あわびとりゲームコーナーなど。 海産物・農産物等の販売。 ◆「津波遺構一般公開」は、入場無料。事前申し込みも不要。
特記事項	◎昨年の入場者数 約12,000人 ◎昨年の出店者数 23店舗 ◎昨年の津波遺構来場者数 257人
問い合わせ	田老観光イベント実行委員会（田老総合事務所内、☎87-2971） ※津波遺構一般公開は、市観光課ジオパーク推進係（☎68-9091）

高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」について

趣旨・目的	東日本大震災以降、公園や運動施設の利用に制約があったことから、子どもたちの運動機会を確保し、体力向上を図ることを目的に、宮古市復興推進スポーツチャレンジ事業として実施します。
日時	12月1日(日) 午後1時～午後4時
場所	市民総合体育館メインアリーナ
主催	高田道場（宮古市、宮古市教育委員会は後援）
内容	■アマチュアレスリングの要素を取り入れた高田道場オリジナルの体操教室。 たかだのぶひこ 高田延彦さん、むかいあき 向井亜紀さんはじめとする高田道場スタッフや県内高校レスリング部員よりご指導をいただく。 対象：満5歳児～小学校6年生
特記事項	◎前回参加者 185名 ◎高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」の宮古市開催は、今回で8年連続8回目。 ◎申し込みは、市内各小学校や各保育所等へ配布した申込用紙に、必要事項を記載の上、郵送またはFAXで申し込み。ホームページからも申し込み可能。 ◎申込期限 11月23日（土）
問い合わせ	宮古市体育協会（☎62－6000） 市教育委員会 生涯学習課 体育振興係（☎68－9120）

令和元年度多良間村交流事業「児童生徒体験交流学習」について

趣旨・目的	沖縄県多良間村児童生徒と宮古市児童生徒の代表が相互訪問し、交流学習や体験学習、受け入れ家庭での触れ合いを通して、相互理解を図り健全育成に資することを目的とする。 今回は、１２月３日(火)から６日(金)まで、多良間村の小学生５人と中学生３人が本市を訪問し、宮古市の児童・生徒と交流するものである。
期日・場所・内容	■対面式・１２月３日(火) 時間＝16:30～ 場所＝イーストピアみやこ市民交流センター １階ホール ■交流学習・１２月４日(水) 場所＝各受け入れ校 (鉾ヶ崎小・藤原小・山口小・花輪小・崎山小・花輪中・崎山中・新里中) 内容＝それぞれの学校で交流学習 ■体験学習・１２月５日(木) 場所＝崎山貝塚、県立水産科学館、南澤果樹園 内容＝ 9:30～ 縄文の森ミュージアム見学 10:45～ 県立水産科学館でワカメの芯取り体験 14:20～ 南澤果樹園でリンゴの収穫体験 ■歓送迎会・１２月５日(木) 場所＝ホテル沢田屋 時間＝18:00～ ■見送り・１２月６日(金) 時間＝ 8:50～ 場所＝イーストピアみやこ市民交流センター １階ホール
特記事項	◎多良間村との交流事業は今回で３２回目を迎えた。 ◎令和２年１月６日(月)～１１日(土)には、宮古市の児童・生徒８人（小学生５人と中学生３人）が多良間村を訪問して交流予定である。
問い合わせ	市学校教育課 学習指導係（☎ 68－9118 ）